

2019年度・第29期

日本人奨学生募集要項

Announcement

of the 2019 ITO Scholarship Awards for Japanese Students

公益財団法人 伊藤国際教育交流財団

ITO FOUNDATION FOR INTERNATIONAL EDUCATION EXCHANGE

公益財団法人伊藤国際教育交流財団では、日本から海外の大学等の修士課程に留学する日本人留学生を対象に奨学金の希望者を次のとおり募集します。

設立趣旨

公益財団法人伊藤国際教育交流財団は宗教法人真如苑開祖・故伊藤真乗大僧正の遺志により設立されました。

伊藤真乗大僧正は1906年3月28日に山梨県で出生。1936年に立教。真言宗総本山醍醐寺において、伝統の奥義を修めて大阿闍梨となり、仏陀がその偉大なる生涯の終わりにのぞんで説き遺された大般涅槃経を所依とする在家仏教教団を開設。1989年7月19日にご遷化されました。

伊藤真乗大僧正は教育の必要性に対し深い理解を持ち、生前には世界的見地に立って、学術研究への協力を努め、あわせて社会奉仕、発展途上国への教育助成を推進し、さらに国家間の多様な問題に対応しうる人材の育成に力を注がれました。

伊藤国際教育交流財団は、伊藤真乗大僧正の遺志を受け継ぎ、誠実で才能に満ち、かつ独創的な青年たちのために奨学金の援助並びに海外の大学等研究機関が実施する学術研究に対する助成支援を行い、もって我が国と諸外国との相互理解の促進に寄与するとともに、世界に貢献できる人材の育成を目的としております。

設 立

設立認可：1991年2月28日、公益財団法人移行日：2010年11月1日

基本財産

1,600,000,000円

役 員

- | | | |
|---------|-------|---|
| 〈理 事 長〉 | 小高俊彦 | ／株式会社日立製作所 名誉フェロー、東京大学 客員教授 |
| 〈理 事〉 | 石黒静児 | ／自然科学研究機構核融合科学研究所
ヘリカル研究部基礎物理シミュレーション研究系 教授・研究主幹 |
| | 大友康裕 | ／東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科救急災害医学分野 教授
同大学付属病院 ERセンター長 |
| | 大嶺智子 | ／杏林大学保健学部 教授 |
| | 奥山倫明 | ／南山大学人文学部キリスト教学科 教授 |
| | 岸田一雄 | ／宗教法人真如苑 本部長 |
| | 鋤柄佐千子 | ／京都工芸繊維大学繊維学系 教授 |
| 〈監 事〉 | 森川祐亨 | ／公認会計士、有限責任監査法人トーマツ パートナー |
| | 和田正隆 | ／弁護士 |
| 〈評 議 員〉 | 小倉暢之 | ／琉球大学工学部 教授 |
| | 金子昌信 | ／九州大学大学院数理学研究院 教授 |
| | 佐渡島紗織 | ／早稲田大学国際学術院 教授 |
| | 高杉忠明 | ／神田外語大学外国語学部 教授
同大学グローバルコミュニケーション研究所 常勤客員教授兼所長 |
| | 立川壮一 | ／藤田保健衛生大学 名誉教授 |
| | 馬越恵美子 | ／桜美林大学 教授、株式会社日立物流 取締役、
アクサ生命保険（株）取締役 |
| | 籾内佐斗司 | ／東京藝術大学大学院美術研究科 教授、彫刻家 |
| | 山本修一 | ／元日本大学理工学部 教授 |

(2018年6月現在)

プログラム

●プログラムA（10名程度採用予定）

応募資格を満たし、欧米またはオーストラリア、ニュージーランド、カナダへ留学予定の方。

●プログラムB（3名程度採用予定）

応募資格を満たし、プログラムA以外の国（中南米・アジア・アフリカ等）へ留学予定の方。

●特別プログラム：2017年度より3年間限定で募集（2名採用予定）

応募資格を満たし、研究テーマが自然災害に関連する項目であれば応募可能です。例えば、「地球温暖化、異常気象、自然災害のメカニズムの解明や対策」「災害の予防・減災」「災害後の対応プロセス」「復興の支援方法」「被災者の心のケア」「BCP（事業継続計画）」「災害時の支援機器の開発・展開」などにつながる方。

※文系・理系問わず幅広い分野から応募可能です。留学予定国は問いません。

※特別プログラムに応募される方は、当プログラムの選考の後、自動的にプログラムAまたはBとしても再度審査が行われます。（ただし、採用はどちらかのプログラムになります。）

「チャンスが2回ある」と、とらえて頂き是非ご応募下さい。

ご自身の研究テーマが特別プログラムの対象であるか不明な場合は、当財団までお問い合わせ下さい。

奨学金の内容

生活費 ※為替レートの変動により生活費（円貨支給額）を調整します	プログラムA：月額US2,000ドル相当の円貨 プログラムB：月額US1,500～2,000ドル相当の円貨 ※地域によって異なる 特別プログラム：欧米諸国は、プログラムAに準ずる その他の国は、プログラムBに準ずる		
旅費	実費（限度額範囲内）	授業料	実費（年間300万円以内）
奨学期間	原則、2年以内とする。 ※昨今の修士課程の多様化により、3年間で専門資格が得られるコースもあり、これらのコースに入学を希望する方の応募も可能。 但し、生活費と授業料は、上記支給額を調整の上、支給します。		

応募書類提出締切

2018年8月24日（金）当日消印有効（厳守）

※出し忘れや郵便事情などによる紛失・遅れでも、選考に間に合わない場合は審査できませんので、予めご了承下さい。配達の確認は配達記録、書留などをご利用下さい。

- ① 申請者は提出書類を揃えて、当財団へ「角2の封筒」・「レターパック」等でお送り下さい。
その際、封筒裏面右下に、1)応募プログラム（「A」「B」又は「特別」）、2)留学先国を必ず明記して下さい。
- ② 提出は郵送でお願いします。※財団への持参は審査対象外となります。
- ③ 郵送先

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-8-4 BABAビル5階
公益財団法人 伊藤国際教育交流財団 日本人奨学金係

応募資格

- ① 日本国籍を有し（日本で初等～中等教育を受けた外国国籍の方も可）、日本から諸外国の大学等の大学院修士課程（またはそれに準ずる課程）に正規生として入学を予定している方で、成績、人格ともに優秀で経済的援助を必要としている方。なお、専攻分野は問いません。
※ 修士博士一貫コースの初年度から入学する方も応募可能です。
但し、支給期間は、修士に準ずる課程の期間（初年度から最大2年間）とします。
※ ディプロマコースへ留学予定の方は事務局までご相談下さい。
- ② 2019年1月から12月末日までに入学予定の方
- ③ 2018年11月4日（日）または11月17日（土）に行われる面接を受けられること
- ④ 当財団の奨学生として、留学前にガイダンスに参加できること
- ⑤ 2019年4月1日現在において、年齢が29歳以下の方が望ましい
2019年4月1日現在で30歳以上の方は「今、留学を希望する理由」を提出すること
（P7ロ.対象者のみが提出する書類11.を参照）
- ⑥ 日本在住で、日本国内から海外へ留学する方

※以下の方は、応募対象外となります。

- 2019年度に博士後期課程へ留学予定の方
- 留学先に研究生、研修生、専攻生、聴講生、交換留学生等として留学予定の方
- 他の機関から奨学金の援助または特典を受ける方（ただし、大学からの学費免除は除く）
- 特定機関に在職したまま留学される方（休職者・現職への復職予定者も応募対象外）
- 海外在住者

提出書類

提出書類には、イ. 申請者すべての方が提出する書類（下記1.～6.）とロ. 対象者のみが提出する書類（P 7、7.～12.）の2種類があります。必要書類を揃えて、当財団宛に郵送して下さい。

イ. 申請者すべての方が提出する書類

各書類の注意事項も必ず読み記入、作成して下さい。

書類名	留学先言語	書式	言語	作成様式	
				手書	PC
1. 申請願書 ※プログラムA・Bと特別プログラムは申請願書が異なります。ご注意ください。		財団指定用紙 2019①～⑧	日本語	○	×
2. 推薦書 1 通		“推薦書 表紙” (指定用紙) と推薦文	日本語(日本語を母国語としない場合は、英語でも可)	○	○
3. 成績証明書(コピー不可)		大学等にて発行	日本語 または 英語 (上記以外は日本語訳添付)	—	—
4. 研究論文の要旨		A4 2,000字程度 ※参考文献の文字数は除く	日本語	×	○
5. 留学先での研究テーマ	英語圏 ※1	A4 1,500 ～2,000 words ※参考文献の文字数は除く	英語	×	○
	英語圏以外	A4 2,000字程度 ※参考文献の文字数は除く	日本語	×	○
6. 語学力証明書 (コピー可)	英語圏 ※1	TOEFL または IELTS のスコア及び評価	—	—	—
	英語圏以外	公的機関による語学検定試験の成績証明書	— (日本語、英語以外の証明書には日本語訳を添付)	—	—

※1 英語圏とは、英語で授業が行われる大学も含まれます。

《共通注意事項》

書類不備、提出書類の不足、指定以外の追加書類提出、指定に従わない書類は審査対象外となります。次に掲げる諸注意を確認の上、作成して下さい。

なお、提出できない書類がある場合は、当財団に電話連絡し、指示を受けて下さい。

- ① 書類はA4用紙で全て黒のボールペンを使用し（消えるインクのペン（フリクションペンなど）は使用不可）、楷書（アルファベットは活字体）で記入して下さい。
修正液等は使用しても構いません。
- ② 提出書類、作品等は一切返却できません。
- ③ 願書や書類等は、ホチキス等で留めないで下さい。

《1. 申請願書》

「プログラムA・B」と「特別プログラム」の申請願書は異なります。

申請願書をダウンロードする際はご注意下さい。

- ① 申請者本人が日本語で、黒のボールペンを使用し（フリクションペンは使用不可）全て手書きで記入して下さい。選択の設問にはどちらかに○印をして下さい。
- ② 申請願書（財団指定用紙2019①～⑧）は、A4サイズで8枚あります。
- ③ 申請願書①に証明写真を貼付して下さい。
- ④ 願書の内容をよく読み、枠内に収まるように簡潔にまとめ、作成して下さい。
（下記⑥以外は別紙による追加は認められません。）
- ⑤ 「奨学希望期間」は、留学先大学の授業開始月から修士課程に在籍する期間で、原則として2年以内になります。（例：2019年8月～2021年7月）
- ⑥ 「学歴・職歴」「研究業績・賞罰」「現在までに受けた奨学金」「家族状況」で枠に書ききれない場合は、願書の同じページをコピーし、続きを記入し、提出して下さい。

《2. 推薦書》

- ① 複数の提出は認められません。
申請者本人や申請者の研究内容について、よくご存知の方お一人にお願いして下さい。
- ② 財団指定用紙“推薦書 表紙”を必ず添付して提出して下さい。
“推薦書 表紙”がない場合は審査対象外となります。
- ③ 別紙《推薦者の方へ：推薦書の記入について》の注意事項を厳守し、必ず厳封にて提出して下さい。

《3. 成績証明書》

- ① 高校卒業以降に在籍したすべての高等教育機関の成績証明書を提出して下さい。
高等教育機関とは、大学学部、大学院の他、高等専門学校、専門学校、短大、交換留学等海外の大学等を含みます。
- ② コピーは認められません。但し、交換留学先の成績が入手困難な場合はコピー可とします。
- ③ 英語または日本語以外の証明書の場合は、別紙で日本語訳を添付して下さい。
- ④ GPAによる評価が行われている大学は、GPAが記載された成績証明書を提出して下さい。

《 4. 研究論文の要旨 》

- ① 学位論文やゼミ論文等の研究論文について、パソコンにてA4用紙に2,000字程度(1,500～2,500字)の日本語でまとめて下さい。
- ② ページ毎に氏名、頁数/総頁数を必ず記入して下さい。
- ③ 論文がない場合は、大学で勉強したことをまとめて下さい。
- ④ 卒業論文または研究論文と、留学先での専攻が異なる場合は、現在の専攻に至る経緯も含めてまとめて下さい。

《 5. 留学先での研究テーマ 》

- ① 留学先での研究テーマについて、具体的にまとめて下さい。ページ毎に氏名、頁数/総頁数を必ず記入して下さい。
- ② 留学予定先言語により、I、IIと指定が異なります。
 - I. 英語圏の国（英語で授業が行われる大学を含む）に留学予定の方
 - 英語：パソコンで、A4用紙5枚程度（1,500～2,000 words）にまとめて下さい。
 - II. 英語圏以外の国に留学予定の方
 - 日本語：パソコンで、A4用紙に2,000字程度（1,500～2,500字）にまとめて下さい。

《 6. 語学力証明書 》

- ① 留学予定先言語により、I、IIと指定が異なります。
 - I. 英語圏の国（英語で授業が行われる大学を含む）に留学予定の方
 - TOEFL（ITPは不可）またはIELTSの成績（コピーを提出）
 - 成績は、スコアだけでなく評価の部分も提出して下さい。
（申請者本人の氏名が明記されていること。）
 - TOEFL iBTで受験し、かつ書類のコピーが提出できない場合は、オンライン上の画面を印刷し提出して下さい。ただし、記載されている氏名、現住所が願書と同一であるもののみ可とします。
 - II. 英語圏以外の国に留学予定の方
 - 公的機関による語学検定試験の成績証明書（コピーを提出）
※日本語、英語以外の証明には日本語訳を添付して下さい。
- ② 留学先言語と同じ言語の4年制大学（学部）を卒業している方
 - ①の語学力証明書の提出を原則としますが、留学先言語と同じ言語の4年制大学（学部）を卒業している方は、学部の成績証明書とA4用紙に代用提出の旨を記入した「理由書」をもって代用することができます。
- ③ 締切までにTOEFL、IELTSのスコア結果が間に合わない方
 - A4用紙で「遅れる理由書」を作成し、願書と共に提出書類締切日の2018年8月24日（金）までに提出して下さい。
 - その上で、スコア結果を追加書類として、2018年9月14日（金）必着で当財団へ郵送して下さい。9月14日（金）までに届かない場合は、審査対象外となります。
 - また、一度提出したスコアの結果は差し替えできませんので、予めご了承下さい。

ロ. 対象者のみが提出する書類

申請者は自分が該当するかよく確認の上、提出漏れがないようご注意ください。

書類名	対象者	内容
7. 私の夢 【PC作成可】	留学先が英語圏以外の方 (英語圏とは、英語で授業が行われる大学を含む)	「私の夢」をテーマとした作文を <u>留学先の言語</u> で、A4用紙 2枚程度にまとめて作成。 ※日本語訳を添付すること
8. 留学予定大学の資料	・プログラムBの申請者 ・特別プログラムで、プログラムB対象国へ留学する申請者	進学予定大学についての資料 日本語、英語以外の場合は日本語訳も提出。
9. 作品	芸術関係専攻 → 必須 建築関係専攻 → 任意	a) 音楽関係 → CD・DVD (録音時間は特に指定なし) b) 絵画及び彫刻等 → 写真(枚数は特に指定なし) c) 映像関係 → DVD 上記以外は当財団に相談すること。 ※作品のサイズは、大きくてもA3サイズ程度とする
10. 作品の評価書(1通) 【PC作成可】	<u>9. 作品を提出する方</u> ※任意で作品を提出した方も含む	① 提出作品についての、第三者の専門家(※)による評価書(A4用紙1、2枚程度) <u>レターヘッド付の評価書を厳封にて提出。</u> ※推薦書の記入者と同じ方でも可 ② 文章は <u>日本語</u> (日本語を母国語としない場合は <u>英語</u>)で作成し、最後に <u>執筆者の役職・署名(自筆)・捺印またはサイン</u> を記入。 ③ 申請者と執筆者との関係も記入。
11. 「今、留学を希望する理由」 【PC作成可】	<u>2019年4月1日時点で30歳以上の方</u>	30歳を越えて修士課程留学を目指す理由をA4用紙 <u>1枚程度</u> に日本語で具体的に記入。
12. 留学先大学の入学許可書または合格通知書 (コピー可)	既に取得済の方 ※条件付合格の方も含む	合格済で留学先大学の入学許可書及び合格通知書を既に取得されている方。

個人情報の使用について

奨学金申請から採用決定の諸手続きにおいて当財団が取得した情報やデータ（願書や申請書類の内容を含む）、並びに奨学期間中及び奨学期間終了後に当財団が取得した情報やデータは、すべて個人情報として取り扱われます。当財団は個人情報に関する法令を遵守し、取得した個人情報は以下の事業内容に基づく使用目的以外には本人の許可なく利用いたしません。また、当財団の「個人情報保護規程」に則し、管理いたします。使用目的に照らして不要となった個人情報については、一定期間保管した後、破棄いたします。

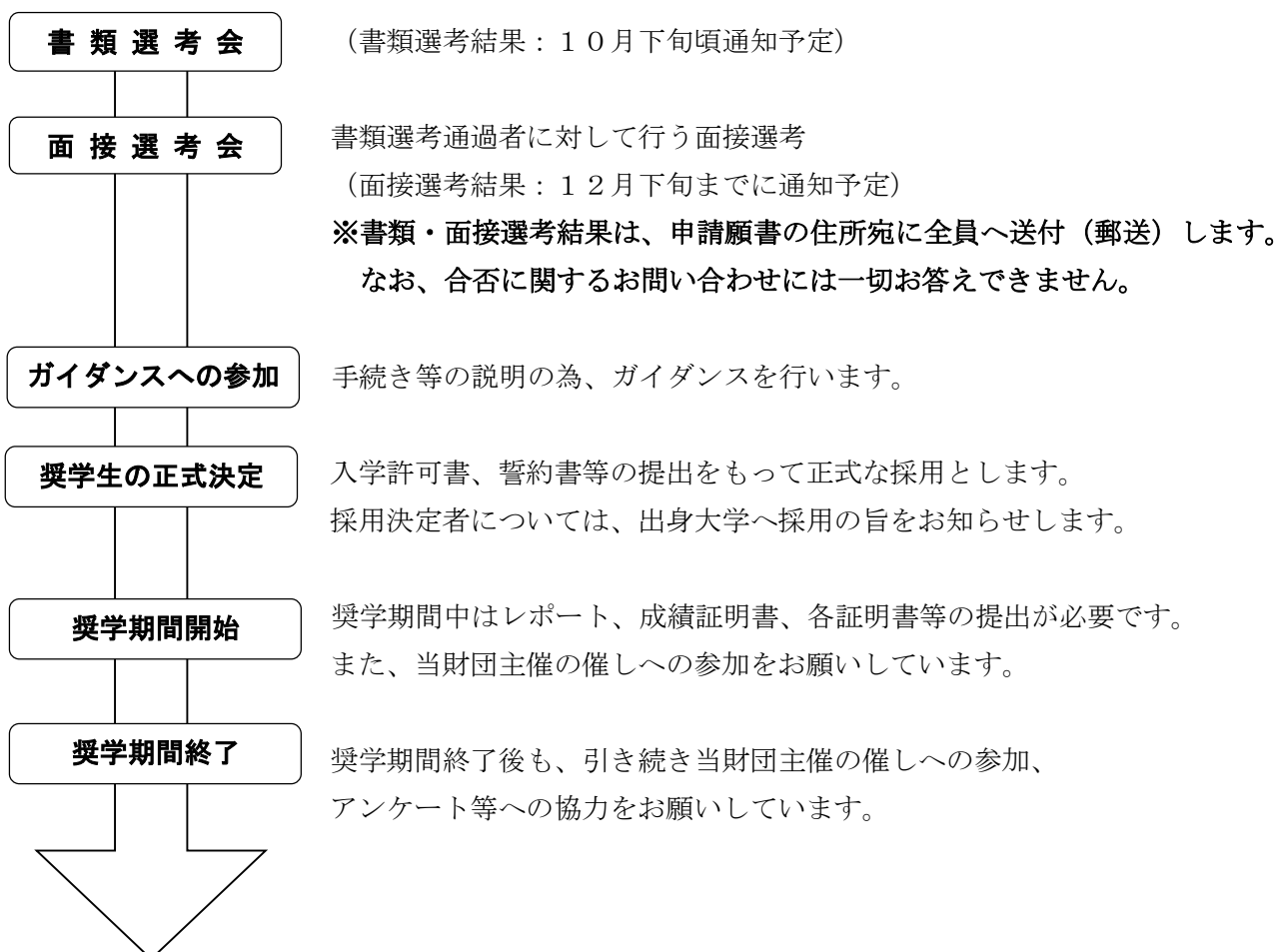
【事業内容】

- ① 日本人奨学生に対する、奨学金給付事業
- ② その他目的を達成するために必要な事業（交流事業等）

【使用目的】

- ① 日本人奨学生選考に関する諸手続き（募集、選考、承認から採用決定まで）のため
- ② 奨学金支給に関する諸手続きのため
- ③ 当財団の出版物（当財団の機関誌、採用者リスト、各種名簿等）やWEB等への掲載のため
- ④ 官公庁、大学、関連財団などへの選考結果等の報告のため
- ⑤ 全般的な留学事情の把握、調査など、奨学金事業を充実するため
- ⑥ 当財団の広報活動のため
- ⑦ その他、応募者や採用された奨学生とのやりとりを適切且つ円滑に履行するため

選考から採用後の流れ



FAQ

Q 1. 現在海外に留学していますが、海外から応募はできますか？

A n s . 海外在住者は応募対象外です。

(日本在住で、日本国内から海外へ留学する方を対象としております。)

Q 2. 今年の夏(秋)から留学しますが応募できますか？

A n s . 応募対象外です。今年留学する奨学生は昨年中に決定しています。また、すでに修士課程に留学している方向けのプログラムはありません。

Q 3. まだ大学院に合格していませんが、応募できますか？

A n s . 応募可能です。第一希望の大学院に合格することを前提に応募していただくこととなります。

Q 4. 語学留学する予定ですが応募できますか？

A n s . 応募対象外です。1年以上2年以内の期間、修士課程の正規生として留学する方が対象です。

Q 5. これからTOEFLを受けるのですが、応募締切迄に間に合いません。応募できますか？

A n s . 応募可能です。「遅れる理由書」を記入し提出して下さい。その上でスコア結果を追加書類として2018年9月14日(金)必着で当財団へ郵送して下さい。

(詳細は募集要項のP6、《6. 語学力証明書》の③を参照)

Q 6. TOEFLなどのスコアの基準はありますか？

A n s . 何点以上という具体的数値基準はありません。採否に関しては申請書類を総合的に判断しています。ただし、留学先で研究、生活するにあたり支障のない語学力は必要です。

Q 7. どのような専攻分野の方々が採用されていますか？

A n s . 専攻分野は問いません。文系、理系、音楽系、美術系など様々な分野の方が採用されています。今後、社会に貢献する人材になっていく方であれば、どんな専攻分野でも構いません。

特別プログラムは、研究テーマが自然災害に関する項目の方を2名採用する予定です。

(詳細は募集要項のP2、プログラムを参照)

Q 8. 修士課程が2年以上なのですが、応募は可能ですか？

A n s . 3年以内であれば可能です。奨学金の支給は、2年間の奨学金(生活費・授業料)を調整の上、支給します。

その他、疑問点、ご相談がある場合には当財団まで電話でお問い合わせ下さい。

お問い合わせ・郵送先

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-8-4 BABAビル5階

公益財団法人 伊藤国際教育交流財団 日本人奨学金係

電話 03-3299-7872 FAX 03-3299-7871

Home Page: <http://itofound.or.jp>

※土、日、祝日を除く午前9時～午後5時まで受け付けます。